
硝子越に見たディストピア

中山 まりな

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

硝子越に見たディストピア

【Nコード】

N7476N

【作者名】

中山 まりな

【あらすじ】

2000文字に思いを込めて。

もしもこの瞳が硝子玉だったら。

「もしも君の瞳が硝子玉だったら、君の頭の中を覗けるのに。」

キスしている最中とかに。

「閉じるんだから、結局見えないと思うけど。」

「じゃあ開けててくれる？」

そう問いかけると、君の華奢な手のひらが目の前に伸びてきて、視界が真っ暗になった。

君が消えそうな声で呟いた言葉を、重ねられた唇から飲み込んで、目を閉じた。

「嫌いにならないでね。」

僕の視界は、相変わらず真っ暗なままだった。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n7476n/>

硝子越に見たディストピア

2010年10月10日06時25分発行